

# 2026年原水爆禁止国民平和大行進実施要綱

2026年3月10日

2026年原水爆禁止国民平和大行進実行委員会

## 核兵器のない世界、非核平和の日本をめざして歩こう！

1958年6月、第4回原水爆禁止世界大会が開かれる東京をめざして、広島市の平和公園から一人の青年が、「核武装阻止と民主主義擁護のために」のプラカードをかかぎて歩きはじめました。その後市民の参加者は増え続け、のべ100万人が参加する大行進となって世界大会を成功させました。翌年からは、核戦争阻止、核兵器全面禁止廃絶、被爆者援護連帯を目標に、今日まで67年間、国民平和大行進はとりくまれてきました。

広島と長崎の原爆による惨害を世界でただ一つ体験した被爆国日本の運動である国民平和大行進は、核兵器廃絶の世論を築き、市民と自治体の共同をひろげ、核兵器禁止条約を実現する力を発揮してきました。その役割はますます重要になっています。

アメリカのトランプ大統領は、国連憲章も国際法もいらないと言って、年明け早々からベネズエラに武力攻撃を行ったのに続き、2月28日には、イランに対する大規模な武力攻撃を開始しました。国連憲章違反の侵略そのものであり、断じて許せません。また、グリーンランドの領有を主張するなど、世界の平和秩序を破壊しています。そして、中国をライバル視し、同盟国を動員して軍事包囲網を強化しています。

それに積極的に協力・加担しているのが高市自維政権です。高市首相はトランプ大統領に、防衛力の抜本的強化を約束し、総選挙で得た多数議席を背景に、憲法9条改悪、非核三原則の見直し、大軍拡など、戦争する国への暴走をいっそう加速しようとしています。世論と運動の力で、暴走を阻止し、憲法を活かした平和な日本、非核三原則を守り、核兵器禁止条約の参加する日本へと前進させなければなりません。2026年国民平和大行進には、例年のない重要な意義があります。

昨年、被爆80年には、被爆者とともに被爆の実相をひろげ、署名を集め、草の根から核兵器禁止条約参加の世論を高めました。こうしたとりくみを力に、2026年国民平和大行進は、全国すべての市区町村で、「核兵器なくそう」「憲法を守り生かそう」「非核三原則を守ろう」「核兵器禁止条約に参加を」とよびかけ、圧倒的な市民、すべての自治体との対話と共同をひろげて被爆地広島、長崎をめざします。

### 1、日程・コース

①被爆地広島、長崎をめざす行動として、全国11幹線コースで実施します。

5月10日北海道→東京（4コース終結）、5月6日東京→広島、5月7日和歌山→広島、5月27日富山→広島、5月3日四国（高知）、5月中ごろ宮崎→広島、5月31日沖縄→広島、6月28日長崎→広島で実施し、8月4日広島（終結）となります。

②すべての自治体を網羅する網の目の平和行進と行動にとりくみます。

## 2、主 催

提唱＝原水爆禁止世界大会実行委員会

主催＝2026年原水爆禁止国民平和大行進中央実行委員会

## 3、名 称

2026年原水爆禁止国民平和大行進

## 4、共通スローガン（案）

- ・核兵器をなくそう！ 核兵器の使用・威嚇反対！
- ・国連憲章を守れ！ 軍事ブロックの強化反対！
- ・憲法9条と非核三原則をまもろう！ 核兵器禁止条約に参加する日本を！
- ・大軍拡反対、憲法を活かした平和外交を！
- ・国家補償による被爆者援護を！
- ・原発ゼロ・再生エネルギーへの転換を！ 福島原発事故被害者へ補償を！
- ・原水爆禁止2026年世界大会を成功させよう！
- ・ノーモア・ヒロシマ ノーモア・ナガサキ ノーモア・ヒバクシャ

## 5、具体的なとりくみ

### ①非核三原則・憲法守れ、核兵器禁止条約参加を、の声をすべての自治体で

被爆者とともに、「非核日本キャンペーンII」をすべての自治体、地域、学校などでとりくみましょう。

原水爆禁止2026年世界大会の成功のために、平和行進の出発・集結集会で連帯のあいさつ、一步でも二歩でも行進に参加を働きかけましょう。学習パンフの贈呈、「折り鶴」ペナントへの協力（賛助金）を求めましょう。

### ②行進とむすんだ対話と署名行動を

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める」署名と合わせて、「非核三原則を守り、実行を求める」署名をひろげましょう。行進スタート、昼食、休憩、終了地点などで、市民との対話、署名行動にとりくみましょう。

### ③折鶴再生行進ペナントの普及

ことしも広島平和記念公園に奉納される折り鶴を再生した「折り鶴」ペナントを作成し、昨年（1万5,134本）を上回る普及をめざします。このペナントは、「核兵器のない世界、非核平和の日本の実現を求める」平和のねがいを託し、平和行進が集結する被爆地広島へ結集します。1人でも多くの方に賛同（ワンコイン募金）を呼びかけてください。

### ④若い世代の参加、「一步でも二歩でも」参加したくなる行進に

世界大会への参加や平和活動に加わる高校生・学生や青年、次世代に声をかけ、核兵器廃絶、平和な世界と日本、ジェンダー平等など、自らの思い、願いを自由に表現できる平

和行進の魅力を伝え、平和行進への参加をよびかけよう。SNS の活用を重視しよう。

#### ⑤全国通し行進者の募集と国際青年リレー行進者の配置について

※全国通し行進者の募集は別途、定めます。

#### ⑥中央団体リレー旗について

団体リレーの果たしてきた役割を再確認するとともに、リレー旗を出される場合には行進事務局にご連絡ください。

### 6、気候変動、猛暑・熱波への対策

この間、地球規模の異常気象による猛暑、熱波が平和行進を直撃し、6月、7月に従来の行進そのものがない県が半数以上に上っています。抜本的な対策について検討をはじめています。9月に実行委員会総会・都道府県代表者会議を開き決定します。今年の平和行進については、以下の点に留意してすすめます。

- ・2026年のコース・日程（幹線コース）については、2024年を基本とします。ただし、6～7月にかけて猛暑・熱波の時期と行進が重なるところは、時期を前倒するなど、各県の実情に応じて柔軟に対応してください。各県の引継ぎについてはこれまでどおり行ってください。
- ・熱中症警戒アラート（前日17時と当日午前5時に発表）が出された場合には、午前中や夕方の比較的高温にならない時間帯での行進にする、30分に1回は必ず休憩を取る、救護車を用意する、凍ったペットボトルを用意するなどの万全な策を取るよう徹底してください。熱中症特別警戒アラートが出された場合は行進を中止してください。
- ・参加者のケガや事故、熱中症など、懸念されている不安を解消するため、イベント保険などに加入しましょう。

### 7、財 政

- ① 中央実行委員会の財政は、基本的に中央団体の参加分担金、協力金、都道府県実行委員会の協力金および事業活動などで運営します。
- ② 都道府県実行委員会、市区町村実行委員会の財政は、基本的に参加団体の分担金、協力金、自治体募金、沿道募金、事業活動などで運営します。
- ③ 県内通し行進者を配置した県に対して、行進人数にかかわらず、1日あたり3000円を都道府県実行委員会組織支援費として負担します。※申請書を別途、設けます。
- ④ 特別支援費として「若者世代活動特別支援費」を設けます。

### 8、行進実行委員会の機構

実行委員会の機構として、①総会、②代表委員、③事務局団体、④会計監査団体を設けます。全国的な経験交流を目的として、年内に総括会議を、総会と結んで都道府県代表者会議を開催します。※総括会議等は別途、定めます。

以上